

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761、2762
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度
	款	8	土木費		
	項	2	道路橋梁費	根拠法令・条例等	道路法 第42条第1項
	目	1	道路橋梁維持費		
コード	761170				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
<p>高度経済成長期に架設された大量の橋梁が、一斉に高齢化し橋の寿命が近づきつつあることにより事業を開始した。</p> <p>長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。その結果、橋梁が一斉的に劣化・損傷することが回避でき、安心安全な交通の確保と橋梁に係る長期的な費用の縮減を図る。</p> <p>全橋の概略点検実施→詳細点検→長寿命化計画書作成→長寿命化計画に沿って事業(補修工事)申請→事業(補修工事)実施→完了</p>	<p>橋梁の長寿命化を図るための国の施策である。</p>	<p>平成19年度第3回(9月)定例会市議会において市議より、橋梁の点検管理に係る一般質問が行われるなど、市民の関心が高まっている。</p> <p>質問内容は、15m以上の道路橋の数や耐用年数、点検・管理状況に関するものであった。</p>

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 霧島市が管理する道路橋梁	計画的で予防的な管理を行うことにより、橋梁を長寿命化する。	安全・快適に移動ができる
イ		

全体計画 (H 21 ~)	平成20年度までの実施状況	平成21年度実績	平成22年度計画
橋梁数647橋		橋梁概略点検647橋を実施	詳細点検:健全度が低い、または重要な橋梁について抽出し、詳細な点検を実施する。
平成23年度計画	平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度以降計画
<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化修繕計画の策定:計画の目的、対象橋梁、現状把握及び維持管理補修方針、点検計画、修繕・架け替え計画、事業効果を、計画策定する。 橋梁修繕工事 	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。

(2) 事業費

単位:千円

単位:千円

全体計画 (H 21 ~)				H 21年度 決算 (A)	H 22年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
	単独	補助	合計				
国		124,932	124,932	11,968	24,000	12,032	101% 増
県							
地方債							
辺地債							
過疎債							
合併特例債							
その他							
一般財源		118,636	118,636	2,836	12,000	9,164	323% 増
計		243,568	243,568	11,968	24,000	12,032	101% 増

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	橋梁の劣化・損傷を計画的に補修することで、安心安全で快適に移動ができることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道に架かる橋梁の管理は、管理者である市の責務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	計画年度とおりに進捗している。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	橋梁長寿命化修繕を廃止・休止することは、橋梁の老朽化が進み膨大な修繕料が必要になり、また、通行の安全が図れなくなる。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	調査に基づいて、コスト削減を図り補修計画をたて実施することから削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	専門性の高い調査や補修計画は委託業務を行い、事業遂行は正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道橋は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2763、2764
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H17 年度~)
	項	1	土木管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	土木総務費	根拠法令・条例等	道路法、道路法施行規則
	コード	761710			
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
市道の管理を行うために、市が管理する道路(市道)や橋梁の台帳(図面)を整備する。手順としては、市道や橋梁の認定・廃止・変更を行い、その後、台帳の補正を行う。台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れる。			市道台帳の再編を進めながら、一部の道路台帳のデジタルシステム化を完了させた。				
			平成22年度計画				
				市道台帳の再編を完了し、道路台帳のデジタルシステム化を完了させる。			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	認定・変更・廃止路線数	本	15	12	15		
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市道(認定・認定外)	市道延長	Km	1,568	1,568	1,568	
イ	橋梁	橋梁数	橋	660	660	660	
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	60	80	100	
イ	"						
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	安全・快適に移動ができる	改良率	%	54.8	54.9	56.0	57.0
イ	安全・快適に移動ができる	渋滞箇所数	箇所	9	9	8	8

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	35,200	22年度(予算)	23,720	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 市町合併により霧島市としての台帳整備が必要になり、平成17年度より開始している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特になし
	補正予算額		0				
	予算合計		35,200		23,720		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		35,200				
	支出合計		35,200				

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	35,200		35,200	23,720		23,720	17,000		17,000
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	35,200		35,200	23,720		23,720	17,000		17,000

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	35,200		35,200	23,720		23,720	17,000		17,000
計	35,200		35,200	23,720		23,720	17,000		17,000

補助率	国	—	—	—
	県	—	—	—
補助基本額				

平成21年度	当初予算	35,200 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	35,200 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れることから、しいては、安全で快適な移動ができることになる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道という「市の財産」の全体像を管理することは、道路管理者の責務である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市道・橋梁の情報を管理するためのものであり、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	平成22年度には100%整備できる見込みであり、順調に進んでいる。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	新規・改良路線の詳細が把握できず、財産の管理・機能確保ができなくなる上に、地方交付税の算定基礎数値の変更ができない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	法にある「要素仕様」であり削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	台帳の基礎部分は、市職員が作成しているが、必要最小限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の機能確保の為に基礎資料の台帳を整備することなので、偏りはなく、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道路線の再編及び新規認定を行いながら、林務水産課・耕地課と連携し農道・林道から市道への移管・市道から農道・林道への移管を行い、お互いの管理物件を整理を図っていく。 また、広域に及ぶ業務のため、一定の地域に偏らないように配慮する必要がある。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	761110	事務事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761、2762
予算科目	会計	一般会計			
	款	8	土木費	項	2
				目	1
					道路橋梁維持費
				コード	761110

1.現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

対象	意図	結果
市民市道	集落道路の改修や側溝改修を行うことで移動がしやすくなる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	妻屋4号線	継続	工事L=130m			H 21	
		国分	17,860				
2	向花3号線			新規	工事L=90m 委託 用地	H 23	
				国分	30,200		
3	湊9号線			新規	工事L=120m	H 22	
				国分	6,300		
4	宮下～名波線			新規	工事L=140m	H 22	
				国分	5,400		
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 1 新規 = 0 継続 = 0 新規 = 3

		H 21	H 22	<全体事業費>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分		1	3	事業費	17,860	41,900	24,040
溝辺				事務費	340	774	434
横川				合計	1路線 18,200	3路線 42,674	2路線 24,474
牧園				<財源内訳>			
霧島					平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人				国庫補助金	9,100	19,737	10,637
福山				県支出金			0
				地方債			0
				その他			0
				一般財源	9,100	22,937	13,837
				合計	18,200	42,674	24,474

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
地区自治公民館からのまちづくり計画書により要望がある。	緊急車輛の通れない狭小道路の改善について議会で質問がでている。

事務事業コード	761110	事務事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	集落道路である狭小道路の改修により、市民が安全・快適に移動ができることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道(集落道路)の改修は、管理者である市の事務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	集落道路の改修を廃止・休止することは、市民の安全・快適な通行が図れない。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	改修の工法については、コスト削減を考慮し決定することから削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	高度な測量設計は委託業務を行い、事業遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	761311	事務事業名	地方道路整備事業(交付金)	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路整備第1・2G
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2771・2774
予算科目	会計	一般会計			
	款	8	土木費	項	2
				目	3
				幹線市道整備事業費	コード
					761311

1.現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位：千円

対象	意図	結果
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	住吉東線	継続	用地 8筆 補償 4箇所	継続	用地補償一式	H 25	H21→H22 繰越 94,045千円 用地補償一式
		国分	127,314	国分	56,500		
2	(仮称)新川北線			新規	橋梁設計 L=285m	H 32	
				国分	47,500		
3	馬立北原線	継続	改良工事W=10.25m L=109m	継続	用地補償一式 改良工事 W=10.25mL=130m	H 26	H21→H22 繰越 24,020千円 用地補償一式
		溝辺	38,620	溝辺	26,000		
4	泉水～市後柄線	継続	用地 4筆 補償 5箇所 改良工事 L=71m(暫定工事)	継続	用地補償一式 改良工事 W=7m L=73m	H 26	
		霧島	56,200	霧島	28,300		
5	宮迫～梅ノ木線	継続	法面工事 L=160m	継続	法面工事 L=150m	H 22	
		霧島	33,190	霧島	33,000		
6	橋梁長寿命化修繕計画 (橋長 15m未満)			新規	N=50橋	H 23	道路維持G
7					11,700		
8							
9							
10							

<地区別> 継続 = 4 新規 = 0 継続 = 4 新規 = 2

		H 21	H 22	<全体事業費>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分		1	2	事業費	255,324	203,000	▲ 52,324
溝辺		1	1	事務費	62,400	65,157	2,757
横川				合計	4路線 317,724	5路線 268,157	1 路線 ▲ 49,567
牧園				<財源内訳>			
霧島		2	2		平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人				国庫補助金	147,950	117,650	▲ 30,300
福山				県支出金			0
				地方債	101,200	78,000	▲ 23,200
				その他			0
				一般財源	68,574	72,507	3,933
				合計	317,724	268,157	▲ 49,567

(2)事務事業に対する住民意見等	
誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	この事務事業に対する議会から出された意見 住吉東線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。

事務事業コード	761311	事務事業名	地方道路整備事業(交付金)	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を実施することにより、市民が安全快適に移動できることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路を整備する事は妥当である。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が利用することから、公平性は保たれる。また、受益者負担は求めている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国からの交付金が要求どおり交付されず、厳しい財政状況の中で事業を進めている状況である。今後も、市民の要求に応えられるよう、早期完成を目指して事業を推進する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	761230	事務事業名	地方特定道路整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路整備第1・2G
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2771・2774
予算科目	会計	一般会計			
	款	8	土木費	項	2
				目	2
					道路新設改良費
				コード	761230

1.現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

対象	意図	結果
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	川跡～松木線	継続	改良工事 W=16m L=195m	継続	用地補償一式 改良工事 W=16m L=157m	H 26	
		国分	33,806	国分	45,000		
2	駅前通り線			新規	用地補償一式 改良工事 W=20m L=80m	H 23	
				国分	118,100		
3	高千穂～泉水線			継続	用地補償一式 設計委託 L=300m	H 24	新たな箇所の要望あり
				霧島	7,650		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 1 新規 = 0 継続 = 2 新規 = 1

	H 21	H 22
国分	1	2
溝辺		
横川		
牧園		
霧島		1
隼人		
福山		

<全体事業費>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
事業費	33,806	170,750	136,944
事務費			0
合計	1路線 33,806	3路線 170,750	2路線 136,944

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県支出金	30,400	153,500	123,100
地方債			0
その他			0
一般財源	3,406	17,250	13,844
合計	33,806	170,750	136,944

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	川跡～松木線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。

事務事業コード	761230	事務事業名	地方特定道路整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を実施することにより、市民が安全快適に移動できることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路を整備する事は妥当である。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が利用することから、公平性は保たれる。また、受益者負担は求めている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	厳しい財政状況の中、事業の進捗に若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられるよう、早期完成を目指して事業を推進する。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	761111	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761、2762
予算科目	会計	一般会計			
	款	8	土木費	項	2
				目	1
					道路橋梁維持費
				コード	761111

1.現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

対象	意図	結果
市民 市道	狭小道路の改修や破損の激しい舗装や側溝などの補修を行い移動をしやすくする。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	参宮線	新規	委託	継続	工事L=120m 委託	H25	
			国分	914	国分		
2	妻屋4号線	継続	用地・補償			H21	
			国分	2,325			
3	市内地域	新規	案内板設置			H21	
				1,613			
4	川尻真孝線	新規	工事L=116m			H21	
			隼人	3,917			
5	木之房上野線	継続	工事L=99m	継続	工事L=500m	H22	
			隼人	4,955	隼人		
6	里道(隼人町姫城)	新規	工事L=148.7m			H21	
			隼人	2,762			
7	里道(隼人町内山田)	新規	工事L=79m			H21	
			隼人	2,919			
8	野久美田清水線	継続	用地	継続	工事L=60m 用地	H24	
			隼人	1,099	隼人		
9	高江山之口線	新規	委託	継続	工事L=80m 用地	H24	
			隼人	1,260	隼人		
10	市内地域	継続	隅切(委託・用地補償)	継続	隅切(委託・用地補償)	H21~	
				3,612			

<地区別>

継続 = 6 新規 = 68 継続 = 15 新規 = 23

		H 21	H 22	<全体事業費>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	15	4		事業費	399,265	178,301	▲ 220,964
溝辺	7	3		事務費			0
横川	8	4		合計	399,265	178,301	▲ 220,964
牧園	9	8					
霧島	10	3		<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人	12	10		国庫補助金	245,550		▲ 245,550
福山	11	5		県支出金	4,800	4,800	0
合計	72	37		地方債			0
				その他			0
				一般財源	148,915	173,501	24,586
				合計	399,265	178,301	▲ 220,964

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
自治会や市民から狭小道路の改修、舗装の補修、側溝等の改修などの要望がある。	3月議会で狭小道路の改修について質問が出された。

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	水尻横頭線	新規	工事L=30m			H21	
		溝辺	5,229				
12	上床公園線	新規	工事L=168.5m 委託 用地補償			H21	
		溝辺	4,327				
13	宮川内石井口上牟田線	新規	委託・用地補償	継続	工事L=70m	H25	
		溝辺	4,904	溝辺	6,500		
14	今村～黒葛原線	新規	工事L=140m			H21	
		横川	8,800				
15	白仁田線	新規	工事L=22m			H21	
		横川	2,451				
16	城山線	新規	委託			H21	
		横川	1,365				
17	下植村～下新原線	新規	委託・用地補償	継続	工事L=50m 用地補償	H25	
		横川	4,730	横川	4,500		
18	落水田～万膳線	新規	工事L=332m			H21	
		牧園	3,287				
19	牧園中央線	継続	工事L=60m	継続	工事L=100m	H21～	
		牧園	2,121	牧園	3,000		
20	牧園中央線	継続	安全施設	継続	安全施設	H21～	
		牧園	1,344	牧園	1,500		
21	仁田原1号線	新規	工事L=180m			H21	
		霧島	1,113				
22	梅北～神田線	新規	工事L=28m 委託 用地補償			H21	
		霧島	1,854				
23	泉水～永池線	新規	工事L=25m	継続	工事L=50m	H22	
		霧島	1,092	霧島	1,200		
24	中原・法ヶ崎線	新規	委託	継続	工事L=175m 用地補償	H25	
		霧島	3,103	霧島	13,000		
25	狩川1号線	新規	工事L=50m			H21	
		霧島	2,910				
26	遠見塚2号線	新規	委託			H21	
		霧島	130				
27	平野線	新規	工事A=22m2 委託	継続	工事L=11m	H22	
		福山	3,045	福山	1,500		
28	宝瀬線	新規	工事A=710m2			H21	
		福山	3,780				
29	牧之原～十文字線	新規	工事L=125m	継続	工事L=160m	H23	
		福山	2,352	福山	3,200		
30	土地改良区19号線	新規	委託	継続	工事L=110m	H23	
		福山	2,625	福山	7,000		
31	大廻裏線	新規	委託 用地補償			H21	
		福山	2,489				
32	前川内～割子田線	新規	委託	継続	工事A=250m2 用地補償	H23	
		福山	2,573	福山	11,500		
33	四方田団地2号線	新規	工事L=259m			H21	
		国分	3,360				
34	神宮前1号線	新規	工事L=78m			H21	
		隼人	683				
35	新川口線	新規	工事L=84m			H21	
		隼人	609				

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
36	大王～鞍掛線	新規	工事L=27m			H21	
		国分	1,470				
37	有下8号線	新規	工事L=16m			H21	
		国分	662				
38	石坂～黒岩線	新規	工事L=28m			H21	
		牧園	1,155				
39	敷根海岸通り線	新規	用地			H21	
		国分	182				
40	御里～梅ヶ谷線	新規	用地			H21	
		国分	2,025				
41	道場口～剣之宇都線	新規	工事L=1,103m 委託			H22	H22～繰越 26,448千円
		国分	53,708				
42	梅ヶ谷～萩之元線	新規	工事L=1,799m			H22	H22～繰越 11,975千円
		国分	27,925				
43	福島～広瀬線	新規	工事L=945m			H21	
		国分	15,015				
44	上之段～口輪野線	新規	工事L=663m			H21	
		国分	4,200				
45	国分地区交通安全施設	新規	工事L=90m			H21	
		国分	945				
46	論地立岩線	新規	工事L=400m			H21	
		溝辺	3,801				
47	溝辺地区交通安全施設	新規	工事L=1,390m			H21	
		溝辺	2,489				
48	鍋ヶ迫～崎山線	新規	工事L=300 m			H21	
		横川	3,990				
49	下植村～水窪線	新規	工事L=316m			H22	H22～繰越 17,000千円
		横川	66,950				
50	横川地区交通安全施設	新規	工事L=12,400m			H21	
		横川	5,723				
51	坪湯原線	新規	工事L=612 m			H21	
		牧園	6,353				
52	牧園地区交通安全施設	新規	工事L=13,067m			H21	
		牧園	6,930				
53	狩川1号線	新規	工事L=440m			H21	
		霧島	6,111				
54	霧島交通安全施設	新規	工事L=6,038m			H21	
		霧島	5,078				
55	宮内松山線	新規	工事L=229m 委託			H21	
		隼人	14,553				
56	下平小鹿野線	新規	工事L=355m			H21	
		隼人	7,350				
57	隼人地区交通安全施設	新規	工事L=7,107m			H21	
		国分	3,518				
58	城山線	新規	工事L=510m			H21	
		福山	4,830				
59	福山地区交通安全施設	新規	工事L=2,045m			H21	
		福山	1,460				
60	大廻中央線	新規	委託			H21	
		福山	8,190				

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
61	東郷宮内線	新規	工事L=117 m			H22	H22へ繰越
		隼人	6,000				
62	下井～湊2号線	新規	工事L=500 m			H22	H22へ繰越
		国分	3,200				
63	上之段～塚脇線	新規	工事L=400m			H22	H22へ繰越
		国分	5,000				
64	田方見次線	新規	工事L=80m			H22	H22へ繰越
		隼人	1,000				
65	北原石原3号線	新規	工事L=100m			H22	H22へ繰越
		溝辺	2,500				
66	桑迫向田線	新規	工事L=250m			H22	H22へ繰越
		溝辺	2,000				
67	馬場迫線	新規	工事L=60m			H22	H22へ繰越
		横川	3,500				
68	中野～内之野線	新規	工事L=400m			H22	H22へ繰越
		牧園	2,300				
69	轟木～健崎線	新規	工事L=200m			H22	H22へ繰越
		牧園	3,000				
70	塩浸線他	新規	工事L=20m 委託			H22	H22へ繰越
		牧園	10,000				
71	橋口4号線	新規	工事L=80m			H22	H22へ繰越
		霧島	2,000				
72	梅ノ木～北永野田線	新規	工事L=45m			H22	H22へ繰越
		霧島	2,000				
73	磯新堀線	新規	工事L=530m			H22	H22へ繰越
		福山	4,600				
74	小廻一本松線	新規	工事L=200m			H22	H22へ繰越
		福山	1,900				
75	高日山線			新規	委託	H25	
				国分	3,150		
76	郡田線			新規	委託	H23	
				国分	1,350		
77	清水7号			新規	工事L=60m	H22	
				国分	5,000		
78	里上線			新規	L=90m	H22	
				隼人	4,000		
79	宮内小田線			新規	工事L=170m	H22	
				隼人	4,000		
80	津曲藤熊線			新規	L=130m 用地	H22	
				隼人	3,300		
81	参宮線			新規	委託	H24	
				隼人	1,350		
82	姫城線			新規	工事L=130m	H22	
				隼人	4,000		
83	嘉例川中道線			新規	工事L=20m	H22	
				隼人	3,241		
84	高畑線			新規	工事L=60m	H23	
				隼人	5,000		
85	久保山大内田線			新規	工事L=140m 委託 用地	H22	
				溝辺	9,550		

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
86	高速側道山上線			新規	工事L=100m 委託 用地補償	H22	
				溝辺	9,100		
87	鍋ヶ迫崎山線			新規	L=70m	H22	
				横川	2,600		
88	山ヶ野木浦線			新規	工事L=610m	H22	
				横川	4,800		
89	二牟礼岩穴線			新規	工事L=600m	H22	
				横川	6,000		
90	横瀬～荒田橋線			新規	補償	H22	
				牧園	1,300		
91	石坂・黒岩線			新規	工事L=15m	H22	
				牧園	3,000		
92	枇杷首線			新規	工事L=86m	H22	
				牧園	2,000		
93	七又線			新規	委託・用地	H22	
				牧園	200		
94	川原～日の出線			新規	工事L=60m	H22	
				牧園	2,500		
95	栗川～八丁線			新規	工事L=200m	H22	
				牧園	2,300		
96	川原田～本池線			新規	委託 用地補償	H22	
				霧島	3,900		
97	磯新堀線			新規	工事3箇所 用地補償	H22	
				福山	4,910		
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							

事務事業コード	761111	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の改修や補修を行うことで、市民が安全・快適に移動ができることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の改修・補修は、管理者である市の事務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市道の改修・補修を廃止・休止することは、市民の安全・快適な通行が図れない。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	改修や補修の工法はコスト削減を考慮し決定することから削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	高度な測量設計は、委託業務を行い、業務遂行を正規職員で行っているので削減余地はない。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	761112	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761、2762
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 27 年度~)
	項	2	道路橋梁費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	道路橋梁維持費	根拠法令・条例等	道路法
	コード	761112			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。 主な業務内容は次のとおり。 ①市道の陥没や側溝閉塞、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握 ②現場状況確認 ③実施要否判断 ④関係機関と協議 ⑤修繕や改修工事・委託の発注 ⑥工事委託終了後の検査 ※日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協力して行ってもらっている。			<ul style="list-style-type: none"> ・修繕工事 ・草払い委託 ・街路樹管理委託 				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	524	474	474	474	
イ	草払い延長	km	782	634	795	795	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	市道利用者及び周辺住民	市内人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ	霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,569	1,573	1,573	1,573
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	安全で快適な通行が図られる。(常時良好な状態に保たれる。)	対応率(修繕・改修箇所数/修繕・改修が必要と判断された箇所数)	%	83	76	76	76
イ	"	市道利用者、周辺住民からの苦情件数	件	1,047	1,341	1,341	1,341
ウ							
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	安全・快適に移動ができる	改良率	%	54.8	54.9	56.0	57.0
イ	"	渋滞箇所数	箇所	9	9	8	8

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	227,711	219,622	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和27年の道路法の改定により、市道の整備並びに維持管理が市町村の義務となった。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 市道の老朽化と交通量の増加による舗装の劣化や、側溝等の不具合が多く発生している。また高齢化社会により地域住民で行っていた草払いが出来ない地域が増えており、それに伴い市で対応してほしいとの要望も年々増加してきている。
	補正予算額	0			
	予算合計	227,711	219,622		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市道の維持修繕は道路利用者だけでなく、地域住民にも多大な影響があるために、早急な対応が求められている。 住民からの苦情や要望の内容としては、「草払い」「側溝改修」「道路舗装の補修」が多い。	この事務事業に対する議会から出された意見 21年度9月議会で、「中山間地域では高齢化が進み自治会で草払いなどの管理が困難になっているが、今後どのように考えるか」の質問がなされた。
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	227,711			
	支出合計	227,711			

事務事業 コード	761112	事務 事業名	道路維持管理事業				担当部	建設部
							担当課	土木課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	6,886		6,886	7,106		7,106	7,106		7,106
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	132,267		132,267	122,824		122,824	122,824		122,824
消耗品費	2,981		2,981	2,300		2,300	2,300		2,300
燃料費	108		108	196		196	196		196
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料	129,178		129,178	120,328		120,328	120,328		120,328
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	74,669		74,669	80,381		80,381	80,381		80,381
14 使用料及び賃借料	2,534		2,534	2,511		2,511	2,511		2,511
15 工事請負費									
16 原材料費	8,296		8,296	6,800		6,800	6,800		6,800
17 公有財産購入費	3,059		3,059						
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	227,711		227,711	219,622		219,622	219,622		219,622

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	227,711		227,711	219,622		219,622	219,622		219,622
計	227,711		227,711	219,622		219,622	219,622		219,622

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	227,711 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	227,711 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の修繕や草払いを行うことで、道路の利用者が安全・快適に移動ができる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であり、市道の安全を確保するという点から妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市道を安全に通行できるようにするための事業であり、対象意図ともに適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	道路の劣化により年々修繕の箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望も増えている。また、修繕料や草払い委託料の経費の確保も難しく、現状としては、修繕による改善や草払いの延長を伸ばすことは難しい状況である。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民の最も身近な生活道路である市道の維持管理を廃止・休止することは、円滑な車輛通行の妨げとなり、事故の誘発を招く。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 市道の維持管理をする事業で、他に手段はない。
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市道の劣化が進む中、道路の補修や、高齢化による草払いの要望が年々増加している。このような状況では、事業費の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在は、草払いや修繕については、委託や請負により、市道の維持管理を継続的に行っている。職員は、住民からの苦情・要望処理や現場での状況判断、また、専門的知識をよする工法検討など対応する業務が多く、人件費を削減する余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民からの苦情・要望は地域によって偏りはあるが、市が行うパトロールなども含め要否を判断しているために、公平性は保たれている。道路管理は、受益者負担を求める事業には該当しない。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路の維持管理は、市民が安全で快適な通行を図るための事業であるので、今後も市道の保全に努めなければならない。

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	761213	事務事業名	道路新設改良事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路整備第1・2G
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2771・2774
予算科目	会計	一般会計			
	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目
				2 道路新設改良費	コード
					761213

1.現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位：千円

対象	意図	結果
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	天降川東通り線	継続	用地補償 設計委託 W=10.25m L=140m 改良工事 L=320m(暫定工事)	継続	用地補償一式 改良工事 W=10.25m L=200m	H 24	
		国分	50,801	国分	49,300		
2	府中21号線			継続	用地補償一式 改良工事 W=9.75m L=40m	H 22	H21は、用地難航のため休止
				国分	23,750		
3	山下～名波線	新規	設計委託 L=530m 改良工事 W=13m L=150m	継続	改良工事 W=13m L=130m	H 23	
		国分	15,068	国分	19,950		
4	広瀬～野口線他5路線	継続	改良工事 W=8.5～12m L=1,382m	継続	用地補償一式	H 23	
		国分	121,277	国分	58,500		
5	天降川東通り2号線	継続	改良工事 (排水工 路体) W=9.75m L=90m			H 28	H22はH21の補正改良工事L=41m 28,500千円
		国分	57,375				
6	清水～国分線			新規	用地補償一式 設計委託 L=90m	H 24	
				国分	14,400		
7	宮内松山線	継続	改良工事 W=5m L=105m			H 24	H22はH21の補正改良工事L=100m 8,075千円
		隼人	15,925				
8	鳥ヶ池線	継続	設計委託：踏切拡幅 改良工事 W=5m L=95m	継続	用地補償一式 改良工事 W=5m L=100m	H 24	
		隼人	8,090	隼人	6,780		
9	豊丸線	継続	改良工事 W=5m L=53m	継続	用地補償一式 改良工事 W=5m L=83m	H 22	
		隼人	7,213	隼人	10,470		
10	宮内山口線			継続	改良工事 W=5m L=150m	H 26	H21は、他事業との調整のため休止
				隼人	26,860		

<地区別> 継続 = 15 新規 = 1 継続 = 9 新規 = 3

		H 21	H 22	<全体事業費>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	9	5		事業費	469,353	257,770	▲ 211,583
溝辺	1			事務費			0
横川				合計	20路線 469,353	12路線 257,770	▲ 8 路線 ▲ 211,583
牧園	3	1		<財源内訳>			
霧島	1			国庫補助金	65,300	8,977	▲ 56,323
隼人	5	5		県支出金	75,700	52,800	▲ 22,900
福山	1	1		地方債	196,000	185,700	▲ 10,300
				その他			0
				一般財源	132,353	10,293	▲ 122,060
				合計	469,353	257,770	▲ 211,583

(2)事務事業に対する住民意見等	
誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	この事務事業に対する議会から出された意見 清水～国分線、東郷宮内線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	東郷宮内線			新規	実施設計 L=109m	H 23	
				隼人	3,060		
12	小浜海岸線			新規	実施設計 L=600m	H 26	
				隼人	5,400		
13	落水田～万膳線	継続	実施設計 W=6.5m L=800m	継続	立木・用地補償一式 改良工事 W=6.5m L=150m	H 24	
		牧園	2,835	牧園	30,750		
14	宝瀬線	継続	設計委託 W=6.5～7.0m L=400m	継続	用地補償一式 設計委託 L=500m	H 25	
		福山	6,510	福山	8,550		
15	立岩糸走線	継続	用地 1筆 補償 14件 改良工事 W=7m L=294m			H 24	H22はH21の補正 改良工事L=310m 40,350千円
		溝辺	82,369				
16	福島～府中線	継続	改良工事 W=8.75m L=69.2m			H 21	
		国分	18,428				
17	長浜中央線	継続	用地 1筆 改良工事 W=4m L=75m			H 21	
		隼人	8,043				
18	下植村～水窪線	継続	改良工事 W=5m L=243.7m			H 23	H22予算は、維持修繕 工事に対応 L=65m 17,000千円
		牧園	18,613				
19	三体堂～浅谷線	継続	改良工事 W=5m L=91m			H 21	
		牧園	21,833				
20	戸崎～東多羅線	継続	補償 3件 改良工事 W=4m L=169.5m			H 21	
		霧島	28,816				
21	天降川線	継続	用地				
		国分	1,538				
22	川跡～有下線		概略設計 W=14m L=1,000m				概略設計
		国分	1,207				
23	辻～中台線		概略設計 W=12m L=1,010m				概略設計
		国分	1,417				
24	鎮守尾～上之原線		概略設計 W=9.75m L=270m				概略設計
		国分	1,365				
25	新川上線		概略設計 W=6m L=76m			H 24	概略設計
		隼人	630				
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							

事務事業コード	761213	事務事業名	道路新設改良事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を実施することにより、市民が安全快適に移動できることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路整備は、市の義務であり、通行車両・歩行者の安全を確保する観点からも妥当である。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が利用することから、公平性は保たれる。また、受益者負担は求めている。

総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	厳しい財政状況の中、事業の進捗に若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられるよう、早期完成を目指して事業を推進する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	761220	事務事業名	辺地対策道路整備事業		担当部	建設部					
					担当課	土木課					
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり			グループ	道路整備第1・2G					
施策名	2	交通体系の充実			電話番号	45-5111					
基本事業名	1	道路ネットワークの構築			内線番号	2771・2774					
予算科目	会計	一般会計									
	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	コード	761220

1.現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

対象	意図	結果
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	口輪野～永迫線	継続	用地 筆 補償 件 橋梁上部工 W=10.5mL=51m	継続	取付道路 L=270m	H 26	H21→H22 繰越 134,100千円 用地補償一式
		国分	199,936	国分	36,000		
2	持松線	継続	改良工事 W=7m L=268m	継続	改良工事 W=7m L=180m	H 23	
		牧園	39,415	牧園	36,000		
3	真方～臼崎線	継続	改良工事 W=7m L=430m	継続	改良工事 W=7m L=320m	H 22	
		牧園	78,238	牧園	33,500		
4	永池～狩川線	継続	舗装工事 W=6m L=442m	継続	設計委託 L=260m 改良工事 L=130m	H 26	
		霧島	23,960	霧島	5,000		
5	狭名田～水流山線	継続	設計委託 W=6.5m L=160m	継続	用地補償一式 工事(暫定) W=6.5mL=100m	H 24	
		霧島	2,520	霧島	27,000		
6	大窪～笹之段線	継続	改良工事 W=6.5m L=167m	継続	用地補償 委託 改良工事 L=40m	H 26	
		霧島	10,000	霧島	22,700		
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 6 新規 = 0 継続 = 6 新規 = 0

		H 21	H 22	<全体事業費>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	1	1		事業費	354,069	160,200	▲ 193,869
溝辺				事務費			0
横川				合計	6路線 354,069	6路線 160,200	▲ 193,869
牧園	2	2		<財源内訳>			
霧島	3	3		平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)	
隼人				国庫補助金			0
福山				県支出金			0
				地方債	353,900	155,200	▲ 198,700
				その他			0
				一般財源	169	5,000	4,831
				合計	354,069	160,200	▲ 193,869

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	口輪野～永迫線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。

事務事業コード	761220	事務事業名	辺地対策道路整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を実施することにより、市民が安全快適に移動できることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路を整備する事は妥当である。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が利用することから、公平性は保たれる。また、受益者負担は求めている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	厳しい財政状況の中、事業の進捗に若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられるよう、早期完成を目指して事業を推進する。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	761410	事務事業名	河川維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	河川港湾グループ
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	45-5111
基本事業名	2	災害危険箇所の整備		内線番号	2781、2782
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H19 年度~)
	項	3	河川費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	河川管理費	根拠法令・条例等	
	コード	761410			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
河川は、上流の水を速やかに下流に流す必要があることから、市が管理する河川(準用河川65本、普通河川99本)の堤防陥没・浸食等、小規模な被災箇所の修繕補修や除草など日常管理を行う。			河川護岸の老朽化に伴う護岸補強工事(単人・木之房川L=76m)を実施。既設護岸や堤防の維持管理や補修・修繕等を行った。(寄州除去工事6箇所内3箇所が22年度へ繰越)				
			平成22年度計画				
			既設護岸や堤防の維持管理や補修・修繕等を行う。				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	工事箇所	箇所	1	4	4	3	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	維持補修の必要な河川	維持補修の必要な河川の数	箇所	1	4	4	3
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	安全安心で、快適な生活ができるようにする。	対応率(修繕箇所/修繕が必要と判断された箇所数)	%	100	67	100	100
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	安全性が確保される	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率(砂防関係)	%	31.0	31.1	32.0	32.5
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	9,700	21年度(決算)	22年度(予算)	3,505	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	14,200					
	予算合計	23,900					
決算額	国庫補助金	11,450			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	12,409					
支出合計	23,859			市民から、被災箇所を小規模な被災の段階で復旧し、被災箇所の拡大及び二次災害防止を図るために、早急な整備が求められている。	住民の生活に密接に関係しているため、早めの対応(補修・修繕等)を求められている。		

事務事業コード	761410	事務事業名	河川維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費				5		5	92		92
10 交際費									
11 需用費	2,476		2,476				2,500		2,500
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料	2,476		2,476				2,500		2,500
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料				1,500		1,500	2,000		2,000
14 使用料及び賃借料	983		983	2,000		2,000	2,500		2,500
15 工事請負費	6,200	14,200	20,400				2,000		2,000
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	9,659	14,200	23,859	3,505		3,505	9,092		9,092

財源内訳	国		11,450	11,450					
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	9,659	2,750	12,409	3,505		3,505	9,092		9,092
計	9,659	14,200	23,859	3,505		3,505	9,092		9,092

補助率	国	1/1.2401	
	県	—	
補助基本額		14,200	

平成21年度	当初予算	9,700 千円		
	補正予算	14,200 千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)	7,000	第6回(3月)	7,200
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	23,900 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	761410	事務事業名	河川維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	河川は、上流の水を速やかに下流に流す必要があることから、堤防陥没・浸食等の小規模な被災箇所を修繕・補修を行うことは、防災対策の推進につながり、安全性が確保されることに結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、公共施設の維持管理を行う義務があり、堤防陥没・浸食等の小規模な被災箇所を修繕・補修することで、防災対策の推進につながるため、市が関与することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	堤防陥没・浸食等の小規模な被災箇所を整備することで、大規模な災害防止につながることから、現状の対象・意図を見直す必要はない。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	堤防陥没・浸食等の被災箇所を小規模な段階で最小必要限度の範囲で補修・修繕を行っている。これらは、防災対策の推進につながり、危険箇所の整備になることから成果が出ている。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	河川堤防の陥没・決壊などの被災箇所において、修繕・補修を廃止・休止することは二次災害に繋がり、冠水・浸水被害などを招く恐れがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小必要限度内での修繕や補修であるため、事業費の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	施工のための工事費積算・現場指導は、職員が担当することになる。これらは市職員でなければ対応できない業務となるため削減はできない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設(河川)の整備であり、受益者が特定できないし一部の住民に限られるものでもない。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、政策体系に沿って適切に実施されている。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	761412	事務事業名	県単急傾斜地崩壊対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	河川港湾グループ
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	45-5111
基本事業名	2	災害危険箇所の整備		内線番号	2781、2782
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	3	河川費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	河川管理費	根拠法令・条例等	鹿兒島県単急傾斜地崩壊対策事業補助金要綱
	コード	761412			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
急傾斜地崩壊危険箇所において、土砂災害から住民の財産・生命の保護を図るため、防災工事などの対策工事を実施する。 1. 傾斜度30度以上 2. 高さ5m以上 3. 人家5戸以上(5戸未満でも、官公署、災害時要援護者関連施設、学校、旅館等のある箇所を含む)			国分・山元地区 法面工(暫定施工) 溝辺・宮川内6地区 法面工、防護柵工				
			平成22年度計画				
			国分・山元地区 法面工、防護柵工 溝辺・宮川内6地区 法面工、防護柵工				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	工事箇所数	箇所	4	2	2	3	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	急傾斜地危険箇所の防護区域内の住民	世帯数	戸	3,699	3,699	3,699	3,699
イ	"	危険箇所数	箇所	633	633	633	633
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	土砂災害から住民の生命、財産を守る	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率	%	31	32	32	33
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	安全性が確保される	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率(砂防関係)	%	31.0	31.1	32.0	32.5
イ							

(2)事業費 単位:千円

	21年度(決算)	22年度(予算)	
予算額	当初予算額	24,000	20,500
	補正予算額	-4,500	
	予算合計	19,500	20,500
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	9,750	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	9,750	
	支出合計	19,500	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
急傾斜地崩壊危険箇所に指定され、県単急傾斜地崩壊対策事業の採択要件を満たしている地区で、土砂災害から住民の安全確保を図るため、昭和63年から事業導入を行ったものである。	県補助金が年々縮小されており、工事完成までに期間を要するようになった。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	この事務事業に対する議会から出された意見
住民からは、早期完成の要望がなされている。	住民の生命・財産の保全に関する事業であるため、要望箇所への早めの事業導入が求められている。

事務事業 コード	761412	事務 事業名	県単急傾斜地崩壊対策事業				担当部	建設部
							担当課	土木課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料		1,680	1,680						
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費		17,820	17,820		20,500	20,500		20,000	20,000
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計		19,500	19,500		20,500	20,500		20,000	20,000

財源内訳	国								
	県		9,750	9,750		10,250	10,250		10,000
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源		9,750	9,750		10,250	10,250		10,000	
計		19,500	19,500		20,500	20,500		20,000	

補助率	国	—	—	—
	県	1/2	1/2	1/2
補助基本額		19,500	20,500	20,000

平成 21 年度	当初予算	24,000 千円		
	補正予算	-4,500 千円		
	第1回 (6月)	第5回		
	第2回 (9月)	第6回 (3月)	▲ 4,500	
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	19,500 千円			

平成 21 年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	急傾斜地の崩壊の恐れのある災害危険箇所における土砂災害から、市民の生命・財産を守ることは市の役割であり、防災対策の推進を図ることに結びついている。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	急傾斜地崩壊の恐れのある災害危険箇所において、土砂災害から住民の生命・財産を守るために対策工事をおこなうことは、市の義務であり妥当性がある。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	急傾斜地の崩壊箇所の防災対策をおこなうことは、土砂災害から市民の生命・財産を守ることになり、安全性が確保されることから、対象・意図は適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	急傾斜地の崩壊箇所の防災対策を行うことで、急傾斜地危険箇所が減少し安全性の確保が図られる。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	急傾斜地の崩壊危険箇所は数多く存在しているため、廃止・休止すると災害危険箇所の整備がなされないことになり、安全性の確保が図れなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 治山事業等(林務水産課) 採択基準や事業の目的が違うため連携できない。
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	標準工法による整備が原則であるため削減は難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	用地無償譲渡に向けた地権者との交渉や工事費積算・現場指導を職員が担当することになる。これらは、市職員でなければ対応できない業務となるため、削減はできない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	実施箇所の住民が受益対象となるため、受益者負担の是非の協議が必要かもしれない。しかしながら、市内には危険箇所も多く、また、県営事業の採択基準に該当しない箇所を本事業で行うことになるが、県営事業には受益者負担金が伴わないことから、本事業でも同様の扱いで、負担金を徴収していない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	761414	事務事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	土木課
施策名	4	防災対策の推進		グループ	河川港湾グループ
基本事業名	6	治水対策の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2781、2782
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 年度
	款	8	土木費		
	項	3	河川費	根拠法令・ 条例等	
	目	1	河川管理費		
コード	761414				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
<p>国分市街地及び国分、隼人地区の天降川流域周辺部で、豪雨時に発生している床上・床下浸水並びに道路が冠水するなどの被害を低減するために、排水施設の新設・改良、貯留施設の整備などによる対策工事を行うものである。平成16年度は、国分地区の基本構想および基本計画の作成、17年度～20年度にかけて国分中央ブロックの実施計画、測量調査、基本設計及び一部の実施設計を行っている。隼人地区については、18年度～20年度にかけて基本計画、実施計画、基本設計を作成済みである。平成21年度に国分府中地区の排水路の改良工事が完了し、隼人姫城地区の実施設計を作成する。平成22年度以降は、国分中央ブロック、隼人の東郷及び姫城の排水対策工事や排水施設の詳細設計に着手する予定である。</p>	<p>住民より早急な浸水解消の要望が寄せられている。</p>	<p>早急な実施を望む意見が多い。</p>

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 浸水被害を受けると予想される住民と地域	豪雨時における浸水被害の低減が図られる	水害の被害が軽減される
イ 治水対策が必要な箇所		

全体計画 (H 16 ~)	平成20年度までの実施状況	平成21年度実績	平成22年度計画
世帯数 1,579世帯 整備計画箇所 5箇所 要整備延長 (L=2920m)	総合治水対策事業基本計画策定 総合治水対策事業実施計画策定 総合治水対策東郷・姫城基本測量設計 中央四丁目地区水路調査測量設計 総合治水対策(排水機場)構想設計 府中地区排水路改良工事 (函渠工 L=32m)	H20繰越 事業費C=49,650千円 府中地区排水路改良工事 L=139.3m(W=2.00m) 中央四丁目地区水路詳細設計 総合治水事業河川事前協議資料作成	H21繰越 事業費C=31,000千円 中央四丁目排水路改良工事 L=206m(W=1.00m) 排水路実施設計(府中地区) 排水路実施設計(東郷地区)
平成23年度計画	平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度以降計画
排水機場実施設計(奈良田) 排水機場実施設計(東郷) 排水路実施設計(姫城) 排水機場実施設計(姫城) 用地補償	排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償	排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償	排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城) 排水路実施設計(中央四丁目) 排水路整備工事(中央四丁目)

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 16 ~)			
	単独	補助	合計
国		55,800	55,800
県			
地方債	1,709,100		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	1,709,100		1,709,100
その他			
一般財源	128,935	24,850	153,785
計	1,838,035	80,650	1,918,685

	H 21年度 決算 (A)	H 22年度 計画 (B)	前年度比較 (B) - (A)	
当初予算額	9,500	31,200	21,700	228% 増
補正予算額	24,900		---	---
予算合計	34,400	31,200	▲ 3,200	9% 減
国庫補助金	23,800		▲ 23,800	100% 減
県支出金				
地方債		29,600	29,600	増
その他				
一般財源	10,560	1,600	▲ 8,960	85% 減
支出合計	34,360	31,200	▲ 3,160	9% 減

事務事業コード	761414	事務事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	宅地の浸水被害や道路冠水の低減を図り治水対策を推進し、水害被害の防止を行うことで、防災対策の推進に結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設である道路の冠水から通行車両及び歩行者の安全を確保し、また、地域住民を浸水被害から守るため、市が関与することは妥当である。
B 有効性評価	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	計画どおり順調に、事業進捗が図られている。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	浸水被害が見られる地域の周辺部の農地の宅地化が進み、遊水地が減少する状況の中で、廃止・中止することは被害がさらに拡大する恐れがある。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	浸水被害が発生している箇所が多くが住宅密集地に位置しており、用地確保及び工事に多額の経費が必要となる。しかしながら施設設置場所を道路等の公共用地を最大限に利用しているため経費の削減余地は無い。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地元説明会、用地取得のための地権者との交渉、施設設計の委託費積算や工事費積算及び現場指導を職員が担当することになる。これらは、市の職員でなければ対応できない業務のため削減できない。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路冠水から通行車両及び歩行者の安全を確保し、水害から住民を守るための整備であり、一部の住民に限られるものではない。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	毎年のように浸水被害が発生していることから早急に整備しなければならない事業である。実施には多額の事業費を必要とすることから、施設を設置する場合は可能な限り道路等の公共用地を利用し、施策に基づき事業を行う。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	